

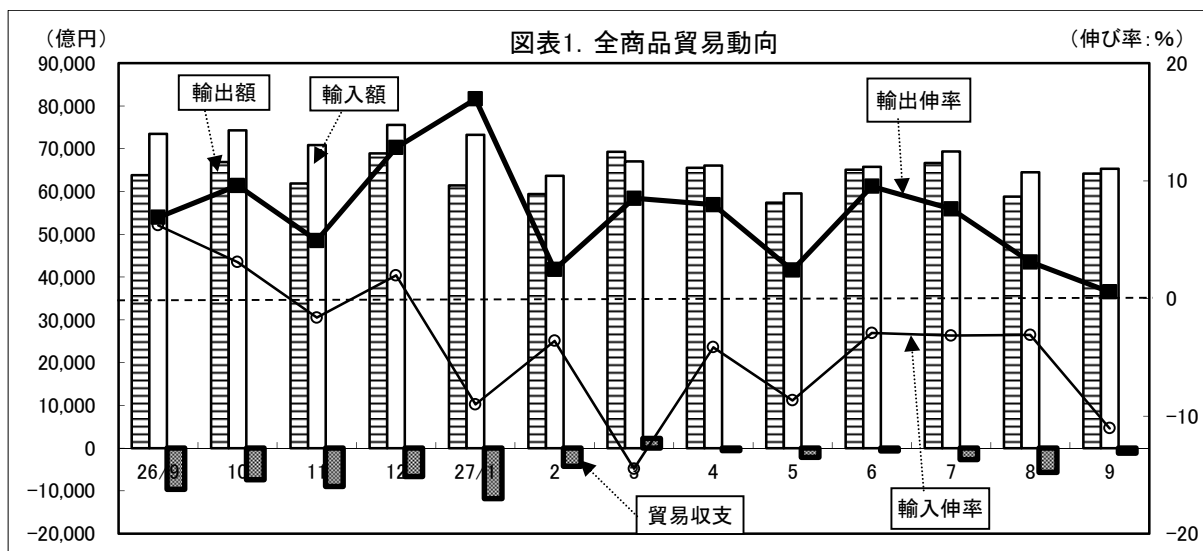
## 最近の機械貿易動向(9月)～機械輸出伸び率 13ヶ月連続でプラス～

日本機械輸出組合 2015.11.16.

平成27年9月の機械輸出額は4兆2,326億円、対前年同月比2.5%増と、13ヶ月連続でプラスとなった。これは、①対ドルで円安傾向が続いていること、②自動車、産業機械、電子デバイス等がプラスになったことなどによる。為替・営業日要因が2.8%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は0.3%減と4ヶ月連続でマイナスとなった。10月の為替・営業日要因は0.8%の増加寄与要因となっているが、11月10日発表の貿易統計速報によれば10月上中旬の全商品輸出は1.8%減であった。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は13ヶ月連続でプラスも 伸び率低下～

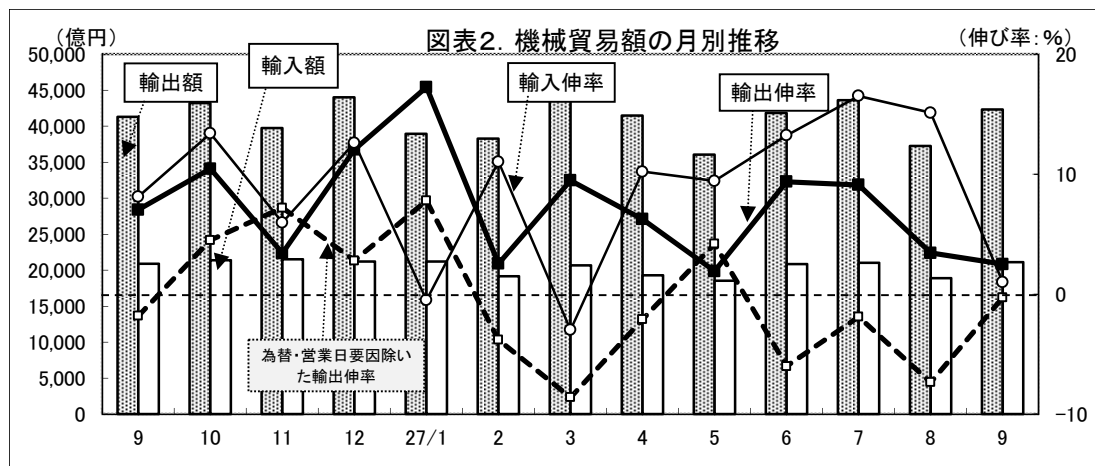
- 1) 平成27年9月の全商品輸出額は**6兆4,170億円**、前年同月比(以下同じ)**0.5%増**と13ヶ月連続でプラスとなった(8月3.1%増)ものの、伸び率は鈍化した。これは、全輸出額の約12%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(8.2%減)がマイナスとなったものの、25%の自動車等輸送用機器(3.7%増)や電気機器(6.9%増)等が増加したためである。
- 2) 輸入額は**6兆5,328億円**、**11.0%減**と9ヶ月連続でマイナスとなった(8月3.1%減)。これは、全輸入額の約9%を占める医薬品等化学製品(5.4%増)、一般機械(6.4%増)が増加したものの、約22%を占める原油等鉱物性燃料(36.1%減)が原油価格下落で大幅に減少したことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、1,158億円の赤字となった(8月は5,694億円の赤字)。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～輸出は13ヶ月連続プラスも9月は伸び率縮小～

- 1) 全商品輸出額の約66%を占める9月の機械輸出額は**4兆2,326億円**、**2.5%増**と13ヶ月連続で拡大し(8月3.4%増)、輸出額の水準は、リーマンショック前(2007年9月)と比べると**84.3%**となり、前月に比べて1.7ポイント改善した(8月82.6%)。
- 2) 一方、全商品輸入額の約32%を占める機械輸入額は、**2兆1,099億円**、**1.0%増**と6ヶ月連続でプラスとなった(8月15.1%増)。リーマンショック前(2007年9月)の水準と比較しても37.1%増となっている。

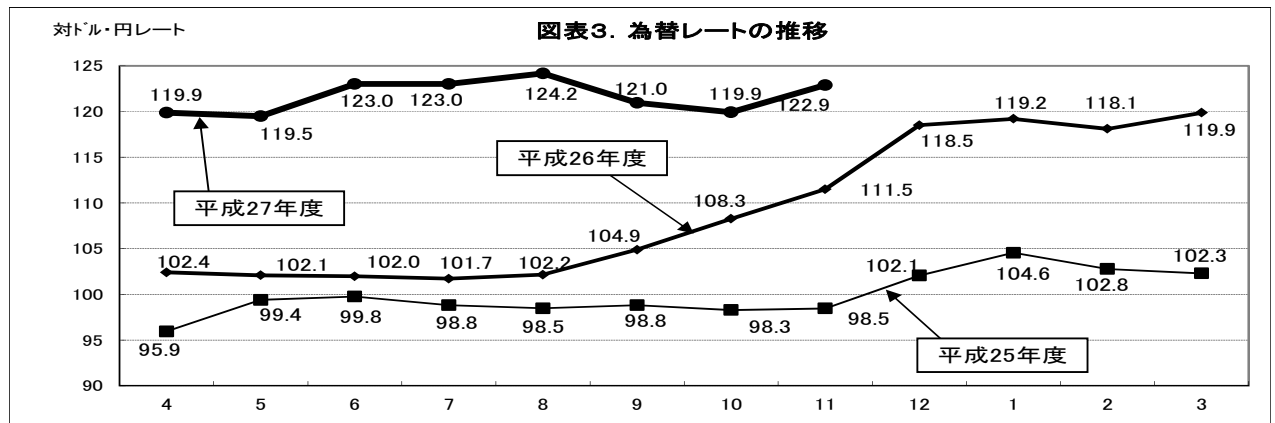


(2) 為替動向・営業日～9月は2.8%の増加要因、10月は約0.8%の増加要因～

1) 9月は1ドル=121.0円となり、前年に比べ15.3%の円安となった。また、対ユーロは136.2円と前年に対して0.9%の円高となり、合わせて約8.2%の為替増加要因となった。営業日は前年より1日少ないため、5.0%の減少要因となり、合計で約2.8%の増加要因となる。9月の輸出額は2.5%増であったことから、実質的伸び率は0.3%減と4ヶ月連続でマイナスとなった(8月7.3%減)。

2) 10月は1ドル=119.9円で前年比10.7%の円安、対ユーロでは135.1円で前年比2.2%の円高となり、合わせて約5.6%の為替増加要因となった。営業日は前年より1日少ないため、4.5%の減少要因となり、合計で約0.8%の増加要因となる。

3) 11月は、対ドルが10月12日17:00時点の122.9円とすれば、前年に比べて10.2%の円安、また、対ユーロは132.0円で5.7%の円高となり、合わせると約5.2%の為替増加要因となる。営業日は前年より1日多いため、5.6%の増加要因となり、合計で約11.1%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～韓国・台湾、北米向けが二桁成長の一方、その他地域向けが二桁のマイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、最も伸びたのが、①9.2%を占める韓国・台湾向けで、半導体製造装置等産業機械(29.4%増)、電子デバイス(22.1%増)、自動車(13.1%増)等が大幅に増加して11.1%増となった。②次に伸びたのは、25.5%を占める最大輸出先の北米向けで、全体の52%を占める自動車(17.5%増)をはじめ、航空機部品(13.5%増)、軽電気機械(9.8%増)、重電気機械(8.2%増)等が増加して10.4%増となり、③11.6%のEU向けでは、15%を占める産業機械(2.1%減)がマイナスとなったものの、35%を占める自動車(9.3%増)や理化学用機器等軽機械(20.3%増)等がプラスとなって、4.7%増となった。④14.9%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(25.3%減)、マレーシア(5.7%減)等が減少したものの、パキスタン(29.7%増)、ベトナム(21.3%増)、シンガポール(14.2%増)等が大幅なプラスとなり、業種では、全体の19%を占める産業機械(10.3%減)、電子デバイス(10.8%減)等がマイナスとなったものの、26%の自動車(10.9%増)が大きく増加して2.5%増となった。⑤21.2%を占める中国向けでは、全体の15%を占める自動車(5.4%減)等が減少したものの、電子デバイス(12.4%増)や産業機械(3.4%増)が増加して2.3%増となった。

2) 他方、減少したのは、17.6%のその他地域向けで、中近東(0.2%増)向けがほぼ横ばいだったものの、ロシア東欧等(28.8%減)、アフリカ(28.4%減)向け等が大幅に減少し、機種では64%を占める自動車(6.6%減)や船舶(43.0%減)等がマイナスとなって11.3%減となった。

3) また、リーマンショック前の2007年9月の地域別輸出額と比較すると、ASEAN・南アジア向けが100%を超えたものの、中国向けが90%台、北米、韓国・台湾向けが80%台、その他地域向けが70%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2015/7			2015/8			2015/9			対07年 9月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	43,621	9.1	100.0	37,245	3.4	100.0	42,326	2.5	100.0	0.84
北米	11,225	18.0	25.7	9,303	10.7	25.0	10,804	10.4	25.5	0.85
中国	9,110	5.0	20.9	8,162	▲ 2.9	21.9	8,955	2.3	21.2	0.998
ASEAN・南アジア	6,314	5.2	14.5	5,737	2.2	15.4	6,311	2.5	14.9	1.01
EU	5,088	11.4	11.7	4,103	▲ 1.6	11.0	4,896	4.7	11.6	0.597
韓国・台湾	4,195	19.8	9.6	3,715	11.6	10.0	3,909	11.1	9.2	0.83
その他	7,689	▲ 0.5	17.6	12,602	2.2	16.7	7,451	▲ 11.3	17.6	0.79

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国名	2015/6		2015/7		2015/8		2015/9	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,067	20.8	2,006	19.5	1,722	3.0	1,908	1.3
台湾	2,222	26.9	2,188	20.0	1,992	20.3	2,000	22.3
<b>ASEAN・南アジア</b>								
タイ	1,605	▲ 0.4	1,775	8.9	1,494	▲ 5.8	1,703	3.3
シンガポール	1,073	9.9	886	▲ 7.0	917	▲ 1.3	1,085	14.2
インドネシア	633	▲ 27.4	701	▲ 14.3	670	▲ 9.1	662	▲ 25.3
マレーシア	733	▲ 0.7	776	6.3	671	5.1	665	▲ 5.7
フィリピン	658	11.9	620	3.4	571	13.3	650	3.7
ベトナム	670	50.1	675	29.5	631	16.8	652	21.3
インド	406	17.2	421	13.1	369	1.1	398	▲ 0.8
パキスタン	126	16.3	136	20.1	132	37.0	134	29.7
<b>その他地域</b>								
中南米	2,048	▲ 15.3	2,390	3.7	1,970	1.9	2,311	▲ 9.0
中近東	2,188	22.3	2,172	5.0	1,820	21.4	2,329	0.2
大洋州	1,283	18.7	1,646	30.9	1,137	8.5	1,261	▲ 9.9
ロシア東欧等	782	▲ 32.9	845	▲ 31.4	675	▲ 36.2	954	▲ 28.8
アフリカ	668	9.8	651	▲ 25.0	592	4.9	611	▲ 28.4

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～21 業種中プラスは 13 業種、軽機械、通信機械等 7 業種が二桁の伸び～

1) 業種別では、全 21 業種中 13 業種がプラスとなり、前月より 1 業種増加した。業種では、全体の約 37% を占める自動車(5.3%増)が 4 ヶ月連続、15%の産業機械(0.7%増)が 13 ヶ月連続、9%の電子デバイス(8.4%増)が 14 ヶ月連続のプラスとなり、この他、軽機械(11.9%増)、通信機械(33.8%増)、航空機部品(14.3%増)、医療機械(12.8%増)、農業機械(38.1%増)、産業車両(14.3%増)、鉄道車両(2.15 倍)が二桁の成長となって、機械全体で 2.5%増となった。

2) この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、軽機械、ベアリング、鉄道車両、医療機械、農業機械、光学機械の 7 業種で前月と同じとなり、他方、電子計算機が 30%台、民生用電子機械が 40%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

2015/7				2015/8				2015/9				対07/9 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	15,555	7.4	35.7	自動車	12,396	6.7	33.3	自動車	15,449	5.3	36.5	0.91
産業機械	7,309	13.1	16.8	産業機械	6,551	5.2	17.6	産業機械	6,464	0.7	15.3	0.86
電子デバイス	3,401	9.0	7.8	電子デバイス	3,361	3.9	9.0	電子デバイス	3,580	8.4	8.5	0.76
軽電気機械	2,259	9.9	5.2	軽電気機械	2,008	5.3	5.4	軽電気機械	2,215	4.0	5.2	0.82
重電気機械	2,103	1.5	4.8	重電気機械	1,858	▲ 3.8	5.0	重電気機械	1,934	▲ 5.9	4.6	0.88
民生用電子機械	1,762	20.7	4.0	軽機械	1,527	▲ 0.1	4.1	民生用電子機械	1,691	6.5	4.0	0.43
船舶	1,756	30.1	4.0	民生用電子機械	1,515	0.3	4.1	軽機械	1,668	11.9	3.9	1.17
軽機械	1,734	9.3	4.0	光学機械	1,311	▲ 11.5	3.5	船舶	1,532	▲ 12.6	3.6	0.87
光学機械	1,371	▲ 7.4	3.1	船舶	1,106	32.3	3.0	光学機械	1,430	▲ 8.9	3.4	1.09
工作機械	963	▲ 3.1	2.2	建設機械	830	▲ 10.0	2.2	建設機械	951	▲ 14.1	2.2	0.71
建設機械	944	▲ 3.7	2.2	工作機械	750	▲ 23.2	2.0	通信機械	875	33.8	2.1	0.84
航空機部品	853	23.6	2.0	航空機部品	711	5.6	1.9	工作機械	781	▲ 26.8	1.8	0.87
通信機械	585	27.5	1.3	通信機械	586	18.6	1.6	航空機部品	767	14.3	1.8	2.02
電子計算機	463	13.4	1.1	電子計算機	449	4.5	1.2	医療機械	529	12.8	1.2	1.12
ベアリング	449	7.4	1.0	医療機械	410	9.4	1.1	電子計算機	491	▲ 3.0	1.2	0.39
医療機械	448	10.6	1.0	ベアリング	374	▲ 2.4	1.0	ベアリング	390	▲ 1.4	0.9	1.14
陸用内燃機関	393	7.1	0.9	陸用内燃機関	329	▲ 3.5	0.9	陸用内燃機関	362	4.4	0.9	0.94
農業機械	201	5.1	0.5	農業機械	207	13.5	0.6	農業機械	235	38.1	0.6	1.12
繊維機械	188	4.9	0.4	繊維機械	175	▲ 13.0	0.5	繊維機械	166	▲ 5.5	0.4	0.70
産業車両	131	1.2	0.3	鉄道車両	114	56.3	0.3	産業車両	140	14.3	0.3	0.65
鉄道車両	114	105.0	0.3	産業車両	109	▲ 2.1	0.3	鉄道車両	110	114.9	0.3	1.14
21業種合計	42,981		98.5	21業種合計	36,676		98.5	21業種合計	41,650		98.4	0.84

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械: 半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品 ・電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品 ・軽機械: 試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械: 白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械: その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械: 通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5) 機種別動向～鉄道車両、通信機械部品等が大幅のプラス、工作機械等が大幅減～

1) 10%以上の伸び率を示した機種は、①その他地域、北米向け**鉄道車両**(2.15倍)、②中国向け**通信機械部分品**(50.4%増)、③北米向け**農業機械**(38.1%増)、④韓国・台湾、中国向け**半導体製造装置**(31.1%増)、⑤北米、ASEAN・南アジア向け**磁気カード・ディスク等**(31.0%増)、⑥北米、EU向け**TV**(26.7%増)、⑦EU、中国、北米向け**理化学用機器**(23.6%増)、⑧中国、ASEAN・南アジア向け**受信変換・その他送受信**(18.6%増)、⑨北米向け**航空機部品**(14.3%増)、⑩ASEAN・南アジア、その他地域向け**産業車両**(14.3%増)であった。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、**工作機械**(26.8%減)、**電池**(18.1%減)等であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)(単位:億円、%)

2015/7			2015/8			2015/9		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	114	105.0	鉄道車両	114	56.3	鉄道車両	110	114.9
半導体製造装置	1,391	55.9	半導体製造装置	1,335	48.4	通信機械部分品	505	50.4
通信機械部分品	252	44.9	受信変換その他送受信機器	166	35.5	農業機械	235	38.1
発電機	117	39.6	磁気カード・ディスク等	189	32.8	半導体製造装置	1,294	31.1
船舶	1,756	30.1	船舶	1,106	32.3	磁気カード・ディスク等	202	31.0
産業用ロボット	168	28.1	通信機械部分品	249	20.3	TV	125	26.7
デジカメ・ビデオ	465	27.7	発電機	96	18.6	理化学用機器	460	23.6
印刷・製本機械	1,023	24.8	TV	117	18.3	受信変換その他送受信機器	179	18.6
TV	120	24.6	貨物自動車	852	18.2	航空機部品	767	14.3
航空機部品	853	23.6	産業用ロボット	139	18.0	産業車両	140	14.3
機種合計	6,259	* 14.3%	機種合計	4,363	* 11.7%	機種合計	4,017	* 9.5%

は、2ヶ月連続で上位機種 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター

その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電気機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)(単位:億円、%)

2015/7			2015/8			2015/9		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
金属加工機械	276	▲ 21.9	デジカメ・ビデオ	295	▲ 27.8	工作機械	781	▲ 26.8
その他の重電気機器・部分品	491	▲ 13.2	工作機械	750	▲ 23.2	電池	225	▲ 18.1
機種合計	767	* 1.8%	原動力機械	302	▲ 20.8	金属加工機械	258	▲ 17.5
			写真機の部分品・附属品	129	▲ 19.2	風水力機械	679	▲ 17.2
			繊維機械	175	▲ 13.0	その他の重電気機器・部分品	438	▲ 17.0
			その他の重電気機器・部分品	417	▲ 11.8	電動機	129	▲ 17.0
			その他の光学機器	1,102	▲ 11.5	デジカメ・ビデオ	370	▲ 16.3
			電動機	130	▲ 11.2	建設機械	951	▲ 14.1
			時計	99	▲ 10.3	船舶	1,532	▲ 12.6
			金属加工機械	273	▲ 10.1	その他の光学機器	1,203	▲ 10.4
			機種合計	3,672	* 9.9%	機種合計	6,566	* 15.5%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～電子計算機、自動車部品、白物家電、その他の配電制御装置等が大幅増～

1) 9月の機械輸入伸び率は1.0%増と6ヶ月連続でプラスとなった。携帯電話(7.1%減)はマイナスとなったものの、電子計算機(9.1%増)が大幅に増えたことに加え、自動車部品(15.0%増)、白物家電(10.7%増)、その他の配電制御装置(11.9%増)等が二桁の伸びとなり、プラスとなった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は携帯電話、電子計算機、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換・その他送受信、時計、TVとなっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の45%を占める中国(0.4%増)、ASEAN・南アジア(7.2%増)、EU(11.3%減)、韓国・台湾(5.0%増)、北米(0.2%増)、その他地域(23.2%増)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2015/7				2015/8				2015/9			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,626	20.2	12.5	電子デバイス	2,304	4.1	12.2	携帯電話	2,654	▲ 7.1	12.6
電子計算機	1,974	7.6	9.4	電子計算機	1,884	21.4	10.0	電子デバイス	2,561	0.1	12.1
携帯電話	1,207	232.8	5.7	航空機・部品等	1,110	14.5	5.9	電子計算機	1,959	9.1	9.3
航空機・部品等	1,196	26.0	5.7	乗用車	1,071	14.7	5.7	自動車部品	1,249	15.0	5.9
自動車部品	1,182	11.3	5.6	自動車部品	1,031	7.1	5.5	乗用車	970	3.8	4.6
乗用車	840	0.4	4.0	携帯電話	830	129.4	4.4	白物家電	682	10.7	3.2
白物家電	804	▲ 2.2	3.8	白物家電	622	9.9	3.3	航空機・部品等	658	▲ 24.4	3.1
医療機械	647	8.5	3.1	医療機械	620	12.0	3.3	医療機械	639	5.0	3.0
受信変換その他送受信	590	18.5	2.8	配電機器	525	15.5	2.8	配電機器	561	4.9	2.7
配電機器	581	11.6	2.8	受信変換その他送受信	518	▲ 0.3	2.7	受信変換その他送受信	518	▲ 1.2	2.5
その他の配電制御装置	412	20.5	2.0	その他の配電制御装置	395	20.9	2.1	その他の配電制御装置	449	11.9	2.1
コンデンサー等部分品	396	6.0	1.9	コンデンサー等部分品	375	9.9	2.0	コンデンサー等部分品	405	2.0	1.9
12機種合計	12,455		59.3	12機種合計	11,285		59.8	12機種合計	13,305		63.1

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械

・受信変換その他送受信:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等